

## 新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（平成30年度中間）

## 1 支援の内容及び効果等（1）

## 評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容等

| 評価 | 左記の理由   |
|----|---|
| B  | 自主財源の確保や地域活動協議会の認知度の向上、総意形成機能の定着など自律的運営に必要な要素が活動者層に広く認識されつつあり、これまでの支援の効果が表れている。 |

## 2 支援の内容及び効果等（2）

## 評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等
- (2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等

| 評価 | 左記の理由  |
|----|--|
| B  | まちづくりセンター内で、他区の有効な情報や取組み事例を情報共有しながら支援に活かしている。支援の方向性については区の担当課と互いに調整・確認できている。 |

## 3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

## 評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等

| 評価 | 左記の理由   |
|----|---|
| B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の柔軟なアイデアを生かした事業や居場所づくり事業におけるNPOとの連携など、地域が新たに取組む事業の支援を通じて地域課題が解決され、地域の自律的な運営が促されている。</li> <li>・地域活動協議会の認知度の向上を進める中、広報研修会の開催を通じて各地活協間で意見交換や情報交換が活発に行われ、活動者層がその意義を認識し、広報活動に関して積極性が見られるようになった。</li> </ul> |

## 4 総合評価【全体】

| 評価 | 左記の理由  |
|----|--|
| B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域実情に応じた支援の結果、自主財源の確保や地域活動協議会の認知度の向上、総意形成機能の必要性などが認識されつつある。</li> <li>・ まちづくりセンター内部における各地域の状況や先行的な取組等に関する情報共有により支援の促進が図られ、外部（当区含む）との連携・調整も円滑に行われている。</li> <li>・ 重点支援策の取組みを通じて、NPOなどの多様な主体との連携や広報活動の活性化等、地域の自律的な運営が促されている。</li> </ul> |

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。